平成 30 年 12 月 28 日

研修報告書

氏名：藤田　直久

所属：信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター

研修期間：平成　30　年　12　月　3　日　～　平成　30　年　12　月　28　日

研修場所：京都大学医学部附属病院遺伝子診療部

研修内容：



研修成果：

１）遺伝カウンセリング陪席

各遺伝専門医の専門分野ごとに陪席させて頂いた。遺伝学的検査の結果の返し方、記録の取り方・保管方法に渡るまで、信州大学とは異なるシステムで診療が行われており非常に勉強になった。当診療部での遺伝カウンセリングは、毎回の受診ごとに事前準備に始まり振り返りに終わる丁寧な遺伝カウンセリングが非常に印象的であった。また、職種間の連携や情報共有もしっかりなされていた。

２）他科とのカンファレンス

がんクリニカルシークエンス連携会議、HBOCサブユニット会議、周産期カンファレンス、小児科カンファレンス、TSCボードと、多数の連携カンファレンスに参加されており、他科との診療連携を大事にする姿勢は信州大学と同様で、今後も見習うべきであり、具体的な会議の内容に関しても参考にしたいと感じた。

３）大学院生（臨床遺伝カウンセラー養成コース）への教育・研究支援

高度なことを分かりやすく噛み砕いた臨床講義や、実践的な遺伝カウンセリング陪席実習、ロールプレイ演習、院生中心のミーティングや他校との連携カンファレンスの存在からは、遺伝カウンセラー養成コースの大学院生の教育に対する熱心な姿勢を感じた。後進あるいは連携職の育成も診療部の重要な役割であると実感した。

その他（感想・要望・反省点、等）：

自分にとって初めての多施設研修はとても有意義なものとなりました。8ヶ月にわたる研修で徐々に信州大学での診療に慣れつつありましたが、他の施設での診療の体制や様子は異なる部分も多く、1ヶ月の研修でとても多くの気付きがありました。

直接ご指導頂きました川崎先生を始め、京都大学附属病院遺伝子診療部の先生方や遺伝カウンセラーの皆さん、遺伝カウンセラーコースの皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。